

# 国 問

## 国 語 令 和 六 年 度

### 注 意

- (1) 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけない。
- (2) 問題は一冊(本文九ページ、下書用紙は一枚)、解答用紙は三枚である。下書用紙は問題冊子の中にはさみこんであるので、引き抜いて使ってよい。
- (3) 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は次の要領で明確に記入すること。  
(例) 受験番号 80001 番の場合 

8	0	0	0	1
---	---	---	---	---
- (4) 解答は解答用紙の所定の位置に書くこと。他の所に書くは無効になることがある。字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。解答文はたて書きとする。
- (5) 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使ってはいけない。
- (6) 書き損じても、かわりの用紙は交付しない。
- (7) 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

問題一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

注 ナラティブ narrative 物語。語ること。

問い一 傍線A・B・C・D・Eのカタカナで書かれた語句を漢字で書きなさい。

問い二 傍線一「内集団の構成員」の特徴はどのようなことか、答えなさい(二五字以内)。

問い三 傍線二「階級や性別を超えた外集団への共感」を、「書簡体小説」はなぜ可能にするのか、説明しなさい(三〇字以内)。

問い四 傍線三「権利主体の範囲」はなぜ拡大していくのか、説明しなさい(五〇字以内)。

問題二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

——森田思軒「翻訳の心得」

注 靦然逡巡 はじてためらうさま。

問い一 傍線一「其弊は百端にて枚挙す可らざれども、且らく其の著しき一二を数へんに」を現代語に訳しなさい。

問い二 傍線二「原文の意趣は最早や亡びて無くなれり。」とあるが、これはなぜか、答えなさい(三〇字以内)。

問い三 傍線三「余は追々其の小心者の出でんを願ふ。」とはどういうことか、文章全体をふまえて説明しなさい(五〇字以内)。

問題三 次の記事を読んで後の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

著作権保護  
の観点から、  
公開していま  
せん。

——真嶋俊道『正しい戦争はあるのか?』

注 エンパワーマメント 力や権限を付与すること。

問い 右の文章を要約しなさい(二〇〇字以内)。